

原発事故から 8 年 臨床医が見た福島の甲状腺癌



～牛山元美先生 講演会～

日程 2019年4月14日(日)

時間 14:00～16:00 (13:30 開場)

場所 常総生協2階 組合員活動室

守谷市本町 281 つくばエクスプレス守谷駅徒歩7分

※資料代として 500 円頂きます

福島では原発事故以降、当時 18 才以下だった方 38 万人を対象に県民健康調査が実施されています。しかしながら、手術を受けて小児甲状腺がんと確定した患者が 2018 年 12 月 27 日現在 166 人も報告されていることは、福島県外ではほとんど報道されていません。

牛山先生は子どもたちの「甲状腺エコー検診」や、甲状腺がんの手術療養費を給付する「3・11 甲状腺がん子ども基金」等に関わり続けていらっしゃいます。先生から現状と、これから私たちにできることを伺います。

参加を希望される方は氏名・電話番号をお知らせください（定員60名、当会員限定、当日入会可）

TEL 0297-38-8539 Fax 0297-45-6675

✉ ibachiba@kantokodomo.info

オンライン申込書 (右の QR コード)

<https://goo.gl/SwLRQi>



牛山元美先生 プロフィール

佐賀生まれ、二児の母、高知医大(現高知大)卒業
現在 さがみ生協病院内科部長、島根大学医学部臨床教授、11311 疫学調査団理事、3.11 甲状腺がん子ども基金顧問、甲状腺がん支援グループあじさいの会代表、関東子ども健康調査支援基金協力医

原発事故後、関東や福島県の健康相談会に参加。
親からの要望に応え、子どもたちの甲状腺検診に従事。
チェルノブイリやセミパラチンスクで被曝医療について研修。
被曝による健康障害や福島県の県民健康調査、甲状腺癌について各地で講演活動を続けている。

